



注意 ご使用になる前に必ずお読みください。(本書は大切に保管してください)

■安全にご使用頂くために

本書では危険を伴う操作・お取扱について、次の警告記号を用いて重要な部分が一目で判るようにしています。内容を良くご理解の上で本文をお読みください。



警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡又は、重症を負う可能性が想定される内容を示します。



注意 この表示を無視した取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

●取り扱いを行う前に 警告

- 本機は防水仕様ではありませんので、水がかかる環境下(屋外等)では使用しないでください。
- 設置作業時、主電源が遮断されていない場合、感電により身体に危害を被ることがありますので必ず主電源が切れた状態で作業を行ってください。
- 改造はしないでください。改造された場合は、保障適用外となります。
- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。

●組み立てを行う前に 警告

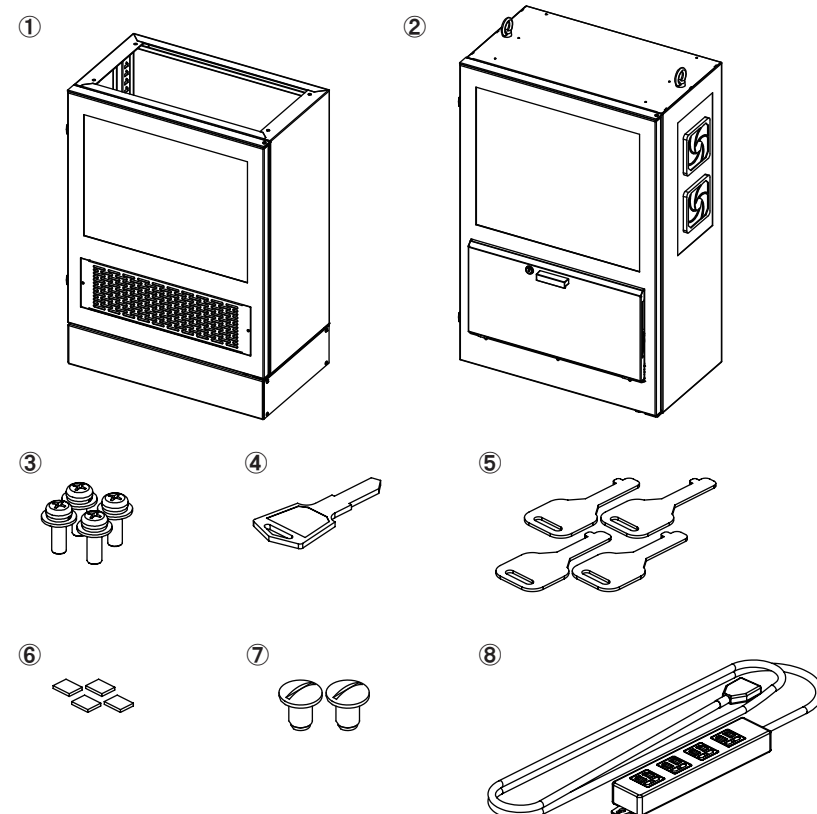
- 組立作業は必ず複数の作業員で行ってください。転倒し怪我をする恐れがあります。
- 組み立てる前に必ず内容物を確認してください。
- 本機の組み立ては必ず機器を搭載する前に行ってください。
- ※機器を搭載した状態で組み立てると、機器の破損、落下の危険性があります。

1. セット内容

※本書の上部本体の図はファンタイプになります。

※組立にはプラスドライバーを使用しますのでご注意ください。

番号	部 品 名	数量
①	下部本体 + ベース	1ヶ
②	上部本体	1ヶ
③	ナベネジ M6×15	4ヶ
④	鍵(キーボード収納部)	1ヶ
⑤	鍵(パチン錠)	4ヶ
⑥	キーボード用マジックテープ	4ヶ
⑦	ボルトキャップ	2ヶ
⑧	OAタップ	1ヶ



2. 設置



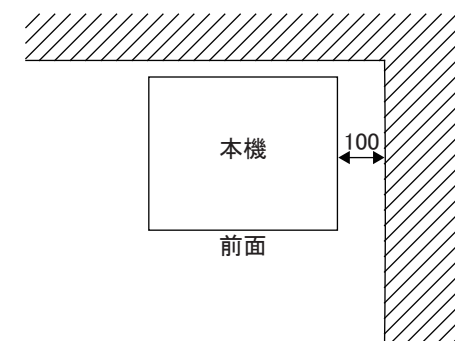
注意

注意

- 本機の設置は放熱の妨げにならないよう、両側面を壁から離して設置してください。
- やわらかい床面、傾いたところなど不安定な場所に設置しないで下さい。転倒し故障の原因となることがあります。
- 設置場所が決定したら、アンカーにて本機のベースを必ず固定してください。ラックが転倒し、重傷を負う可能性があります。
- 搭載荷重以上のものを搭載すると故障の原因となることがあります。
- 設置場所を変更したり、吊ボルトで吊り上げる際は、本機へ搭載した機器を必ず降ろしてください。
- ※機器の振動破損、落下の危険性があります。
- 放熱・冷却機器は、防塵ラック外装側に取り付けられた電気製品ですので設置する環境には十分注意してください。

■本機の設置は空気循環の妨げになるため両側面は100mm以上離してください。(図1)

図1



3. 組立手順



警告

1 ベース

警告

- ベースと下部本体の取り外し、取り付けの際は、下部本体が落下しないよう必ず複数の作業員で作業を行ってください。
- また、取り外し、取り付けのために下部本体を持ち上げる際は必ず扉を閉めてください。不意に扉が開き、怪我をする恐れがあります。
- 本機のベースはアンカーにて必ず固定してください。
- ベースと下部本体を組み付けるネジはしっかりと固定してください。

■下部本体の扉を開け、ベースと下部本体を固定しているネジを4箇所取り外してください。(図2)

■ネジを取り外したら、扉を閉めてから下部本体を取り外し、水平な場所に仮置きしてください。(図3)

図2

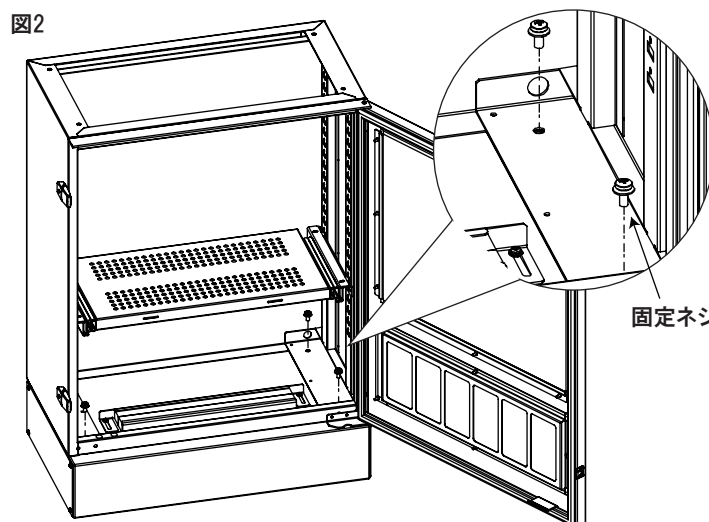
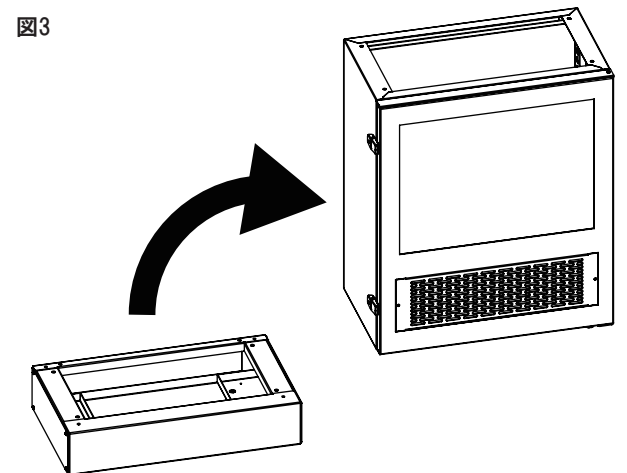


図3



必ず複数の作業員で作業を行ってください。
必ず扉を閉めて作業を行ってください。

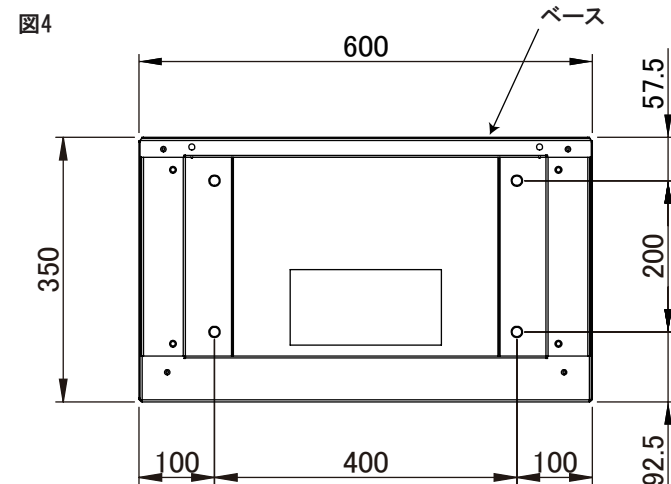
3. 組立手順



警告

1 ベース

- 設置する場所が決定したら、水平な床面に図のピッチにてアンカーボルトを打ち込み、本機のベースを必ず固定してください。(図4)
- ※アンカーボルトは付属しておりませんので、工事施工会社または工務部門の方へご依頼ください。
- アンカーでの固定後、仮置きしていた下部本体をベースに取り付け、先ほど取り外したネジにて再度固定してください。



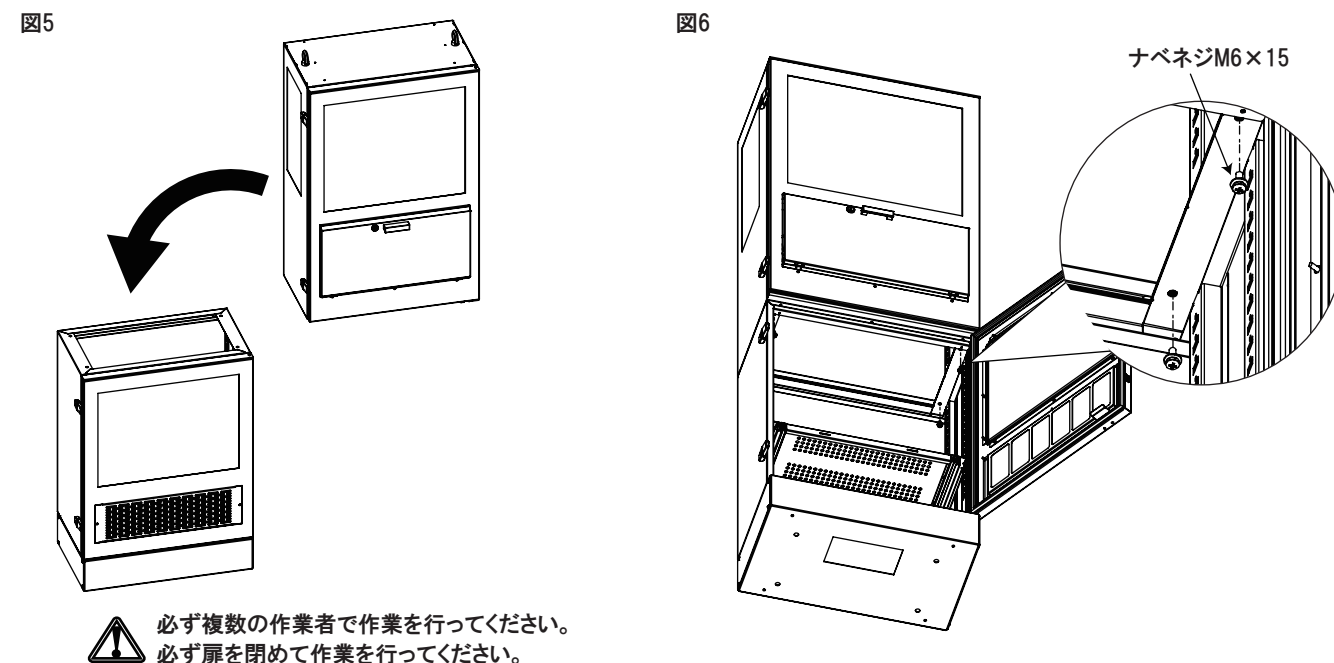
2 上部本体



警告

- 上部本体を取り付ける際は必ず複数の作業員で作業を行ってください。落下、およびバランスを崩し、怪我をする恐れがあります。また、取り付けの際は必ず扉を閉めて作業を行ってください。扉を開けたまま作業を行うと、バランスが崩れ落下する恐れがあります。
- 上部本体は約40～43kgと重いため、必要に応じて吊ボルトを使用し作業を行ってください。
- 下部本体と上部本体を組み付けるネジはしっかりと固定してください。

- 下部本体の上に上部本体を取り付けてください。(図5)
- 下部本体の扉を開け、付属のナベネジM6×15を下部本体に設けられた穴に差し込み、ドライバーにてしっかりと固定してください。(図6)



4. 使用方法

1 扉の開閉

- 下扉、上扉の左側面にそれぞれパチン錠が2個ずつ取付いています。パチン錠の鍵穴に付属の鍵を差し込み、時計回りに回してロックを解除し鍵を抜いてください。(図7)
- ※鍵は無理に回さないでください。鍵の振れ、パチン錠の破損の原因となります。
- ※鍵が掛かった状態で、無理にパチン錠を開けようとしないでください。パチン錠が破損する恐れがあります。
- パチン錠の後ろ側を持ち上げながら、パチン錠の前面を引き上げるとフックが外れます。各扉上下2箇所のパチン錠を外すと扉が開きます。(図8)

図7

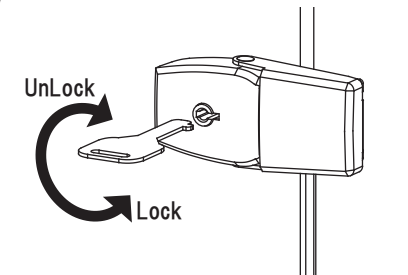
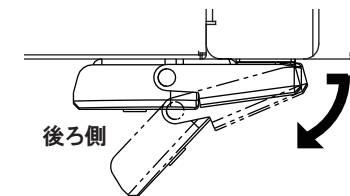


図8



2 電源・冷却機器



警告

- 設置作業時、元電源が遮断されていない場合、感電により身体に危害を被ることがありますので必ず元電源が切れた状態で作業を行ってください。
- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。
- 電源ケーブルの上に重いものを置いたり、無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどは行わないでください。
- 電源プラグはホコリ等の異物が付着していないか確認し、根元までしっかりと差し込んで使用してください。
- 電源プラグはAC100V、15A接地付コンセントを使用し、アースは確実に接地してください。

- 付属の0Aタップ(4個口:内1つはファン、熱交換器にて使用)に収納機器の電源を差し込んで使用してください。
- ファンタイプ、熱交換器タイプは付属の0Aタップに差し込んで使用してください。

3 ケーブル引込口

- 下部本体の底面にあるケーブル引込口奥2箇所のネジを緩めるとケーブルクランプの奥が開くようになります。(図9)
- ケーブルクランプを開きケーブルを通してからケーブルクランプで挟み込みスポンジに隙間が出来ないようにしっかりと押えながら奥2箇所の緩めたネジを締めてください。(図10)
- ケーブルはベースの両側面、または背面から引き出すことができます。(図11)

図9

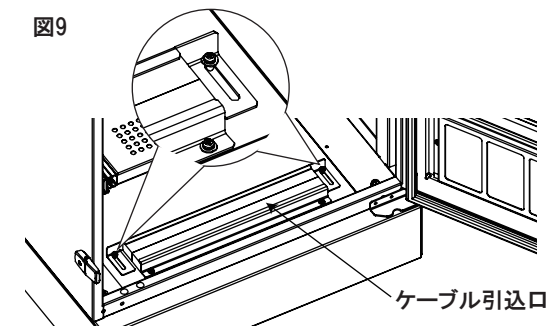


図10

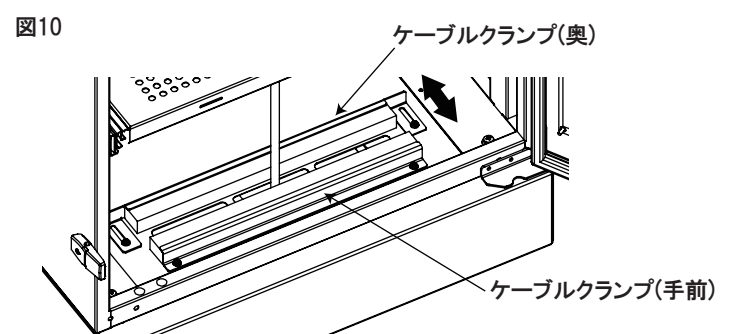
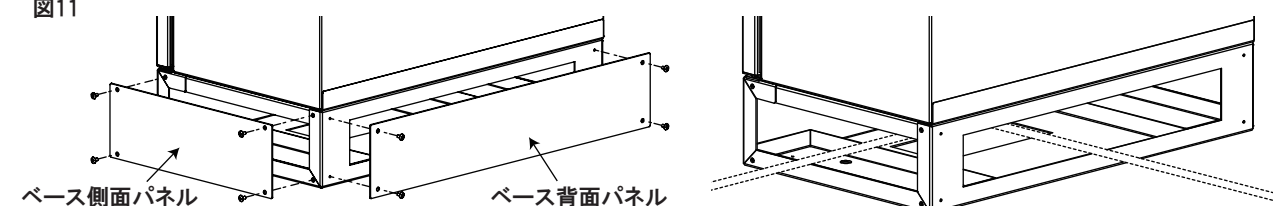


図11



4. 使用方法



注意

4 キーボード収納部



注意

- キーボード台を開く際は保持しながらゆっくりと手前へ倒してください。
- キーボード台へは5kg以上のものを載せないでください。
- キーボード台を閉めるときはステーに手をかけないでください。手をはさみ怪我をする恐れがあります。

- キーボード収納部にシステムロックがありますので付属の鍵を差込み、開閉方向に従って鍵を回し開錠、施錠を行ってください。(図12)
- キーボード、マウスのケーブルはUSBポート(USB2.0対応)に接続して使用してください。USB接続以外のものがあるときはグロメットより引き込んでください。また、ケーブルホルダーにキーボード、マウスのケーブルをまとめる事ができます。(図13)

※ケーブルをまとめるバンドはホームセンター等でご購入ください。

図12

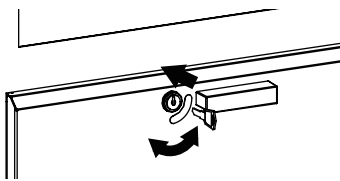
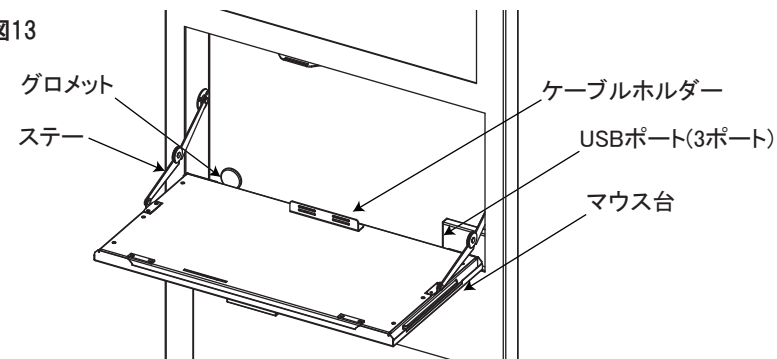


図13



注意

- マウス台に手を掛けたり、重いものを載せる、引掛ける行為は行わないでください。マウス台が破損し怪我をする恐れがあります。

- キーボード台とキーボードの裏面に付属のマジックテープを位置決めし、貼り付けてください。(図14)
- マウス台ユニットはワンタッチ式です。収納されているマウス台を押すと飛び出しますので飛び出した部分をつかみ引き出して使用してください。(図15)

図14

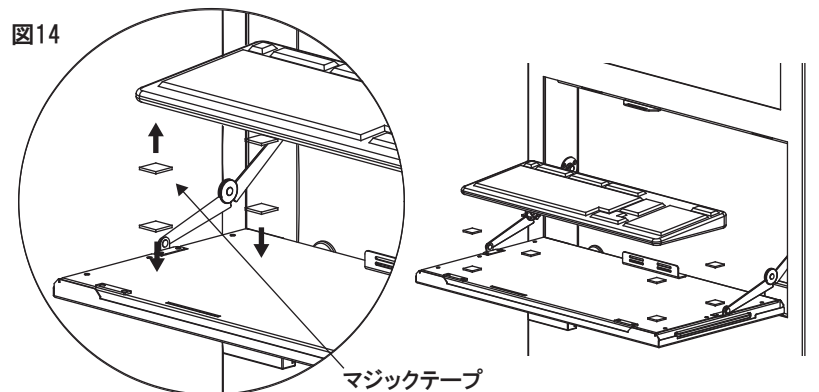
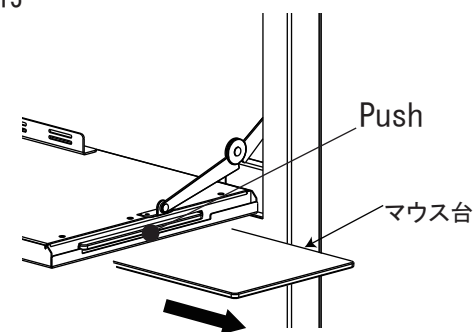


図15



- マウス台ユニットが故障し新しいものと交換する場合、キーボード台上面に固定してあるネジ6ヶ所を外しキーボード台を外してください。(図16)
- マウス台ユニットにネジ止めされている金具を外し矢印の方向にマウス台を引き出して新しいマウス台に交換し、逆の手順でキーボード台を取り付けてください。(図17)

図16

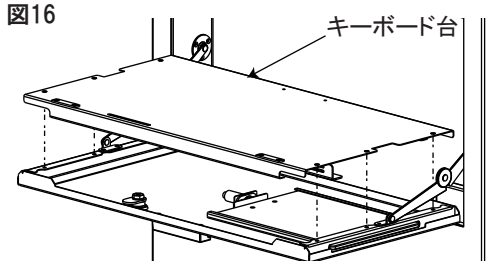
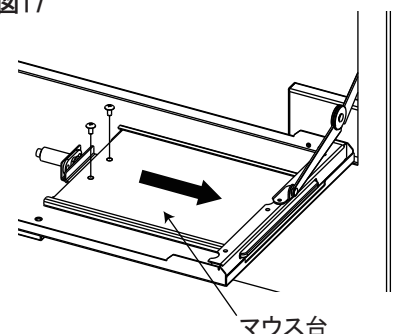


図17



5 棚板高さ変更

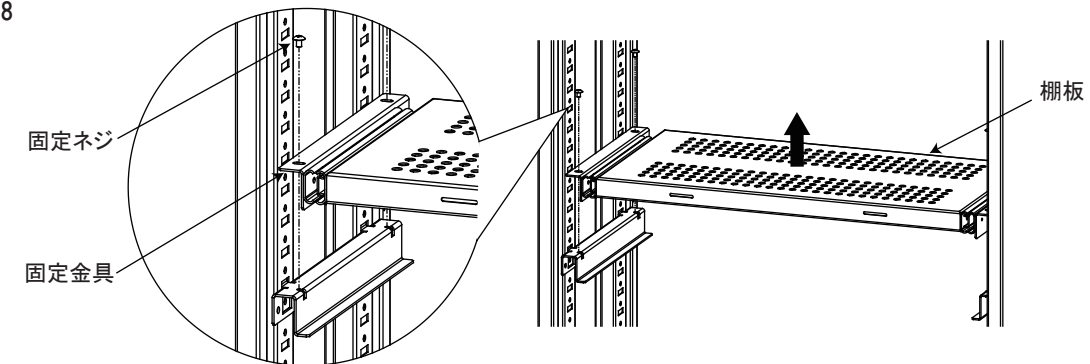


注意

- 棚板の高さを調整する際は、搭載機器を降ろしてから作業を行ってください。
- 移動棚、スライド棚には20kg以上のものを載せないでください。

- 棚板両側にある、固定金具を固定しているネジを左右計4箇所外し、棚板を取り外してください。(図18)

図18



- 残った取付金具を固定しているネジを前後外し、取付金具のツメが引っかからないように取付金具を外してください。(図19)
- 外した取付金具を取付けたい高さにあった穴に差し入れ、取り外した手順とは逆に取り付けてください。(図20)

図19

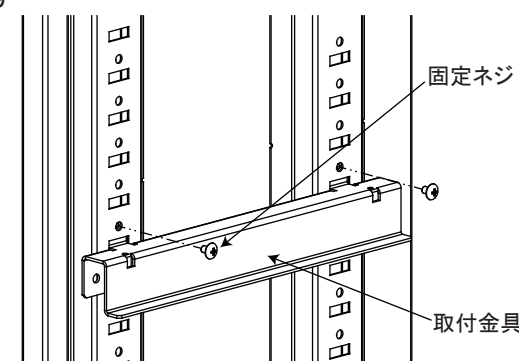
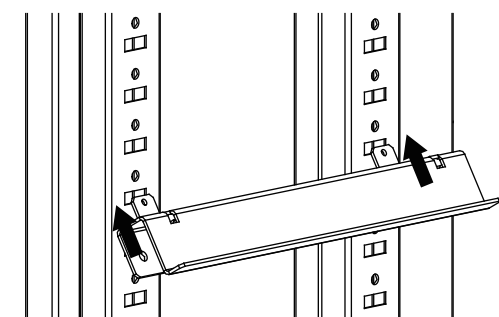


図20



6 棚板使用方法



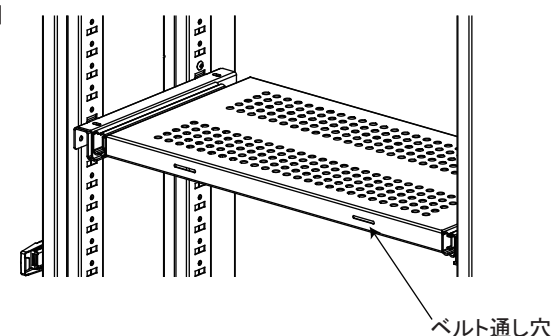
注意

- スライド棚を引き出す際は、勢い良く引き出すと搭載機器が落下し破損する恐れがあります。搭載機器をベルト等で固定してください。

- 移動棚、スライド棚共に機器を固定するためのベルト通し穴を前後に用意してありますので機器を固定して使用してください。(図21)
- ※機器を固定するベルトは付属しておりませんのでお近くのホームセンター等でご購入ください。

- スライド棚を引き出す際は飛び出し防止の為、少々硬くなっていますので少し力を入れ、ゆっくりと引き出してください。

図21



4. 使用方法

7 ディスプレイの取付け



注意

- ディスプレイの取付けは必ず二人以上の作業で行ってください。転倒及び落下し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- ディスプレイ表示面にキズがつく恐れがありますので、きれいな毛布もしくはクッション材をご用意ください。

- 上扉に取り付けられたディスプレイ取付フレームを固定しているM4ナベネジを4箇所外し、ディスプレイ取付フレームを取り外してください。(図22)
- 同様にM4ナベネジを4箇所外し、ディスプレイ取付フレームに取り付けられたVESA取付金具を取り外してください。(図23)

- ディスプレイ付属のスタンドが付いている場合は取り外してください。取り外し方法についてはディスプレイ取扱説明書をご参照ください。
- 付属スタンドからディスプレイを外し、ディスプレイ表示部を下にし、きれいな毛布もしくはクッション材の上に置いてください。
- ディスプレイ背面に壁掛固定用のネジ穴がありますのでディスプレイ取扱説明書で取付位置等をご確認ください。
- ※ディスプレイによってはキャップが付いている場合がありますので取扱説明書に従って取り外してください。
- ディスプレイの背面の壁掛固定用のネジ穴にVESA取付金具の穴を合わせてディスプレイ取付ネジで固定してください。
- その上に、先ほど取り外したディスプレイ取付フレームをM4ナベネジにて固定してください。(図24)
- ディスプレイを持ち上げ、先ほどとは逆の手順でディスプレイ取付フレームをM4ナベネジで固定してください。(図25)
- ※ディスプレイがアクリルなどに当たらないよう注意してください。

図22

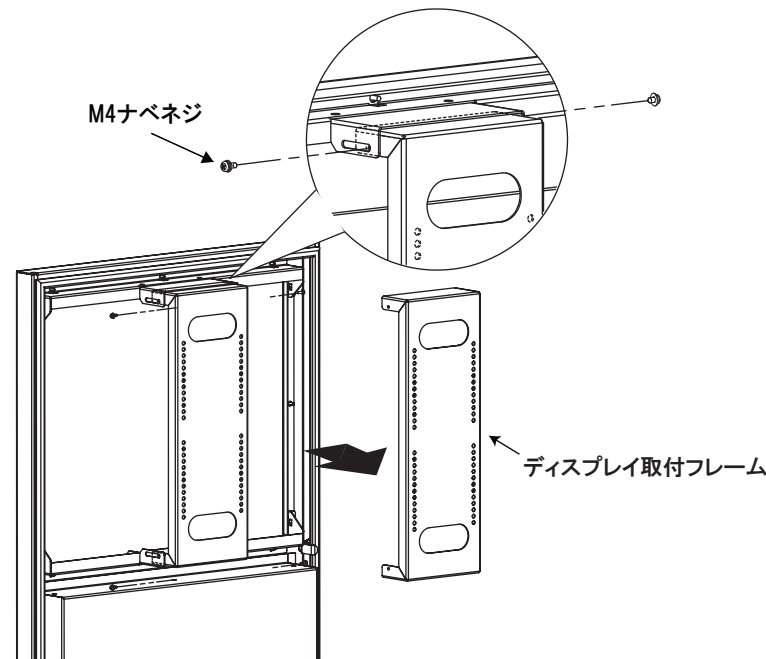


図23

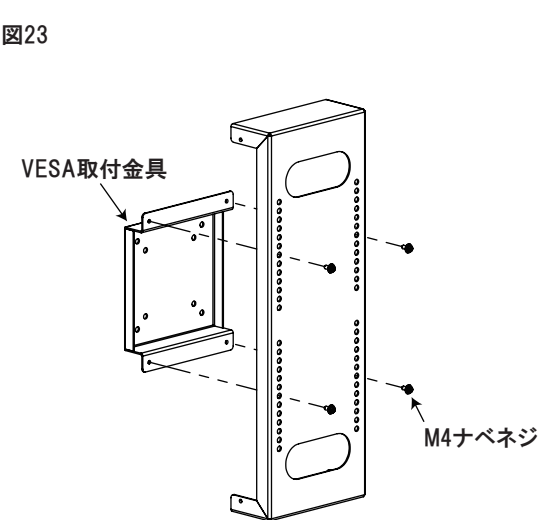


図24

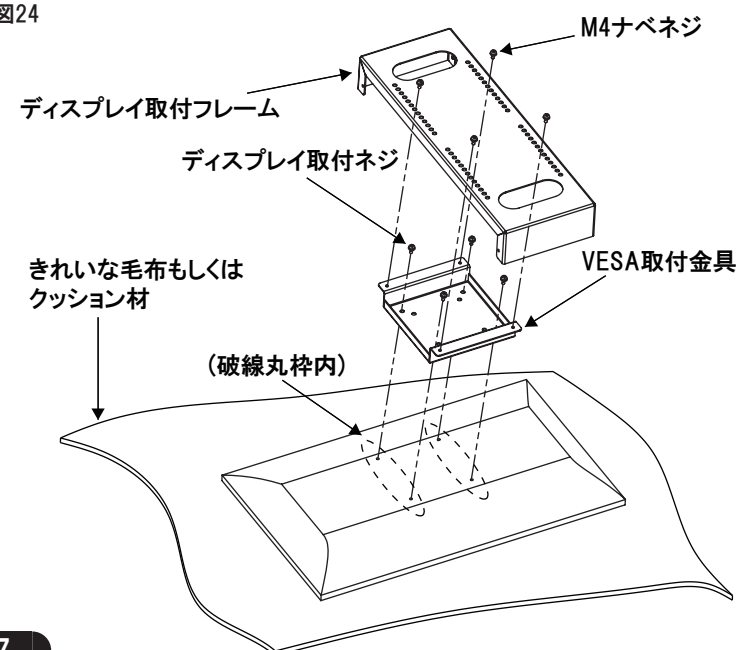
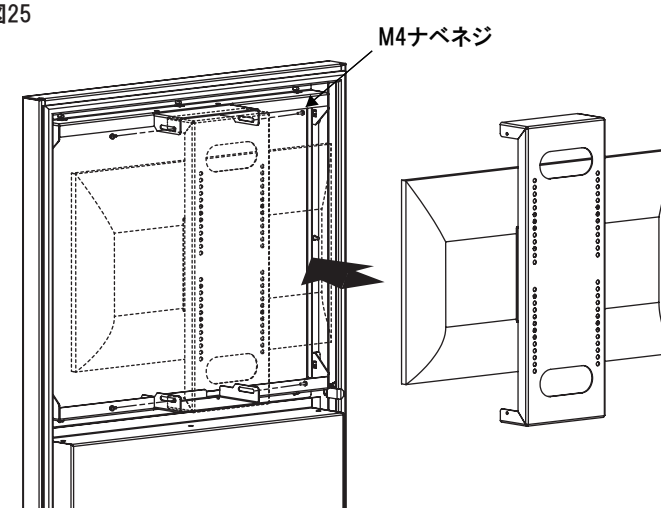


図25



8 ディスプレイの高さ、奥行き調整

- 高さ調整はディスプレイに取付けたVESA取付金具からディスプレイ取付金具を取り外し、ディスプレイ取付金具の任意の取付穴で再度M4ナベネジで固定します。(図26)

※高さを調整するときは必ずきれいな毛布もしくはクッション材の上に置いて作業を行ってください。

- 奥行き調整は図21でディスプレイ取付金具に取付けたM4ナベネジを緩めて適度な奥行きに調整後、再度M4ナベネジを固定します。(図27)

※M4ナベネジを完全に取り外してしまうとディスプレイが落下する恐れがありますので注意してください。

図26

【高さ調整】

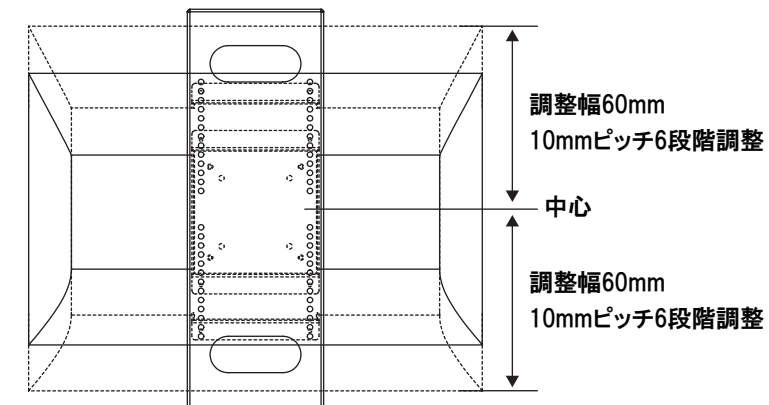
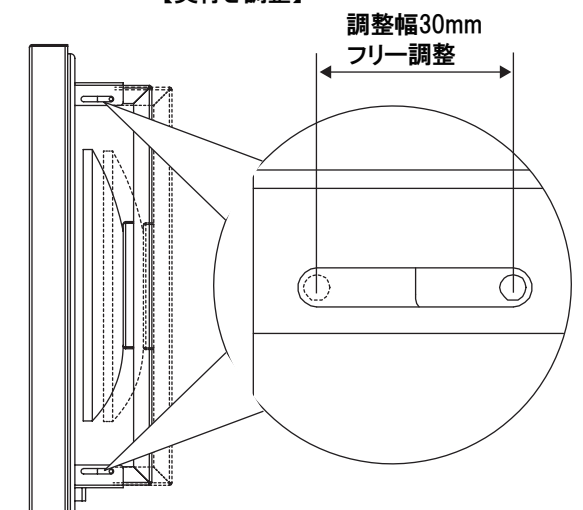


図27

【奥行き調整】



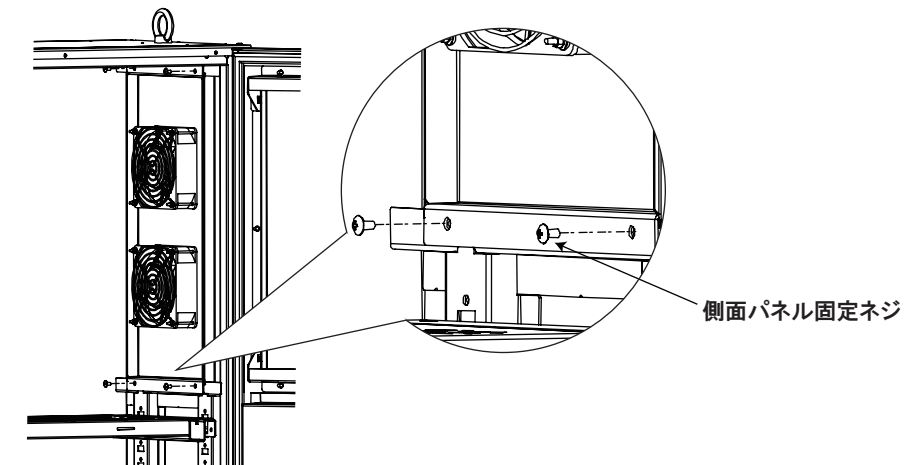
9 側面パネル取り外し

- 上部本体に取り付けられている側面パネルを固定しているネジを4箇所外すことで、側面パネルを取り外すことができます。(図28)

※ファンパネルまたは熱交換器パネルの位置を左右入れ替えることができます。

※ネジを外す際はパネルが落下しないよう注意してください。

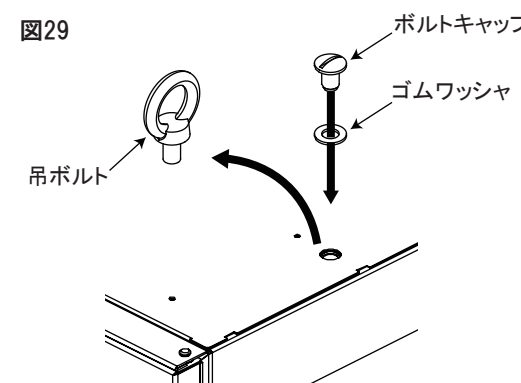
図28



10 ボルトキャップ取り付け

- 本機に付属している吊ボルトを外し、添付のボルトキャップをゴムワッシャに通して穴に押し込み2~3回締めこんで固定してください。(図29)

図29



5. メンテナンス



警告



警告

- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。
- ファンの清掃やお取替えのときは必ず電源を切り、配線ミスが無いよう注意して行ってください。感電により身体に危害を被ることがあります。

1 ファンタイプの取り扱い

- ファンの寿命は、目安として常温常湿で約50,000時間程度ですので定期的に交換を行ってください。
- 日常、ファンが正常に作動しているか、振動や異常音がないか点検してください。
- ファンのお取替えはファンに表記してある電圧を確認の上、当社もしくは最寄の販売店より購入してください。
- フィルターは定期的にエアーガンもしくは掃除機等で掃除してください。目詰まりすると性能が低下し機器に悪影響を及ぼす危険性があります。

2 熱交換器タイプの取り扱い

- 添付、盤用熱交換器の取扱説明書をよくお読みください。
- フィルターは定期的にエアーガンもしくは掃除機等で掃除してください。目詰まりすると性能が低下し機器に悪影響を及ぼす危険性があります。

3 お手入れ

- まもる君は防水ではありませんので、直接水等をかけて洗わないでください。
- 塗装面、アクリル窓のから拭きは避けてください。キズが付くおそれがあります。
- 普通の汚れはキズが付かないよう細かいゴミを掃い、布に水または中性洗剤を含ませて拭いてください。また油污れにはアルコールを布に含ませて拭いてください。シンナー等は絶対に使用しないでください。

4 保守部品

	ACファン 120角	ファン用フィルター	ファン用排気フィルター
型式	MMP-AC120	MMP-FF-PR	MMP-FF-120
個数	1個	吸気側2枚/排気側4枚	排気8枚
価格	8,000円	10,000円	10,000円

	熱交換器用フィルター	ケーブル引込み口	パチン錠
型式	MMP-HF-115L	MMP-CB-350	MMP-SL02
個数	2枚	1セット	2個
価格	10,000円	15,000円	2,500円

	アクリル板
型式	お問い合わせ
個数	1枚
価格	お問い合わせ

6. 仕様一覧

タイプ	ファンタイプ	熱交換器タイプ
型式	SF10F	SF10H
筐体寸法	W600×H1750×D350mm	
質量	75kg	78kg
材質	スチール	
塗装色	本体 7.5Y6/0.5レザートーン／扉 N4.0 レザートーン	
最大搭載重量	合計85kgまで ※筐体重量含まず	
棚板		
移動棚	搭載枚数 1枚／寸法 W470×D240／搭載重量 20kgまで	
スライド棚	搭載枚数 1枚／寸法 W470×D240／搭載重量 20kgまで	
移動のピッチ	上下に25mmピッチ ※取付不可区間あり	
スライド棚の引出	最大引出し範囲 226mm	
電源		
コンセント	マグネット付OAタップ3P4口 4m (内1口は冷却機器で使用、平行2極接地地型AC125-15A)	
定格電圧	AC100V 50/60Hz	
冷却機器		
冷却能力	—	15/18(W/K)
定格電圧	AC100V ±10% 50/60Hz	
消費電流(MAX)	0.54/0.46A	0.36/0.30A
消費電力(MAX)	30/28W	28/24W
主電源ケーブル	2m 2極15A接地プラグ付	
その他		
添付品リスト	取扱説明書・鍵(2種類)・ボルトキャップ・OAタップ・キーボード用マジックテープ・冷却機器取扱説明書(SF10Hのみ)	

7. 電気回路図

